

会議の概要

会議の名称	令和5年度 第1回 あま市人権施策推進審議会
開催日時	令和5年6月22日(木) 午後3時から午後4時45分まで
開催場所	あま市役所庁舎 2階会議室C
議 題	1 会長の選任及び職務代理者の指名 2 あま市人権尊重のまちづくり行動計画令和4年度事業実績・令和5年度実施計画について 3 その他
会議資料	資料1 あま市人権施策推進審議会規則 資料2 あま市人権施策推進審議会委員名簿 資料3 あま市人権尊重のまちづくり行動計画令和4年度事業実績・令和5年度実施計画
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	なし
出席委員	加藤 美由紀 横井 公雅 渡辺 雅樹 近藤 哲夫 服部 光雄 鈴木 正夫 吉田 憲司 村上 千代子 吉川 朝博
欠席委員	なし
事務局	市民生活部長 長谷川 真二 人権推進課長 飯尾 新也 主 幹 堀田 久美子 課長補佐 高橋 美果 係 長 加藤 昌也

議事内容

<b>議題（１） 会長の選任及び職務代理者の指名</b>	
事務局	事務局で推薦させていただきたい。
委員	(異議なしの声)
事務局	会長に鈴木委員にお願いしたい。
委員	(異議なしの声)
会長あいさつ (要旨)	2011年に条例を制定して今日まで来た。 今後も、引き続き、人権問題の解決に向けて頑張りたい。
会長	職務代理者の指名。私の方から指名させていただきたい。
委員	(異議なしの声)
会長	服部委員にお願いしたい。
職務代理あいさつ (要旨)	日本の人権は、世界的にみても後進国以下と新聞に出ていた。自分の意識変革をしないとイケない。自分を変えていくという意識をもって、こういう活動に取り組みたい。
<b>議題（２） あま市人権尊重のまちづくり行動計画令和4年度事業実績・令和5年度実施計画について</b>	
事務局	(資料に沿って説明)
委員	批判めいたこと言っちゃいけないが、評価方法変えたのは、なぜ。
事務局	第1次計画ということで。10年間進めてきた。 昨年度、新たに第2次を策定した。それに伴って、新たに評価を変更させていただいた。第1次の評価では、各課担当者の客観的な評価で、A、B、Cという評価をつけられていた。どういった理由なのかが、把握ができない状況があり、事業評価の指標というのを作成し、達成度、有効度、効率度という3つの項目を挙げさせていただいた。各課、戸惑いがあったが、ある程度の期間を設けて評価をしていただいた。まだ、各課の示し方にバラつきはあるが、初年度ということでご容赦いただきたい。 また、来年度に向けて、指標をもとに、各課に事業を展開していただき、評価基準のコメントも、どのように工夫ができたのかとかいうことをしっかり示していただけるように、もう少し充実した評価となるよう指導をしていく。
会長	事前質問をいただいているので。
事務局	(資料に沿って説明)
委員	2つ目の保育園人権教室について、10年前、企画された内容でずっとやってきた。10年経って、園側の要望は、もっと園児を参加させて一緒にやりたいとか、そういう希望があるのではと思うが。組み替えられる余裕があったら、要望したい。 3つ目、人権相談について、私自身相談員をやっているが、どうしたらいいかと。私たち相談員が、相談者に、こんな相談なら意味がないのではと思われているのではと感じている。人権相談はすごく大事なこと

	だと、すごく大きな役割として位置付けられている。これ以上の広報の仕方、何があるのか、この審議会に相談させていただいた。
会 長	どうしても「人権」というと、来づらいというイメージがあるかも。
委 員	10年一昔という。女性の会として、愛知県にお邪魔し情報交換をしている。今、女性の会から抜けて話をする機会がなくなり、寂しい。でも、あま市だけではなく、いろんなところの地域の方の意見も必要になる。そういう機会があればいいと思う。
委 員	子どもの人権、37ページ。ヤングケアラーに関すること。令和4年度の状況、令和5年度の計画も、同じようにパンフレット作成及び配布について、2年前のこの会議の中で、愛知県がヤングケアラーの実態調査をするということで、実際結果が出ている。その内容をみて、新たな取組を始めていきたいという回答だと思うが、5年度に関しては、引き続きパンフレットを作成し配布をするということになっている。結果をみるとヤングケアラーの認知度は、徐々に上がってきてはいる。まだまだ7割の子どもたちは聞いたこともないという結果が出ているので、引き続き啓発は必要だと思う。市として、今後、啓発だけではなく、より具体的な取組が必要になってくると思う。
委 員	ヤングケアラーの関係で、実態調査し、県として結果を踏まえて、普及啓発中心だが、今後必要な施策を展開していくというところであり、市の子育て関係でも会議等を持っているので、ヤングケアラーで新しく会議を起すというよりかは、既存の会議を活用して、その中で必要な課題を検討していくと。 資料の方が、評価というのは非常に難しいところあると思う。あま市の取組は先駆的で、幅広で深くあると思う。学校、保育、職員に対する人権関係研修については、しっかりされていると思う。地道ではあるが、継続してやっていくということに非常に重要性があるというふうに考えている。
委 員	6ページから35ページ、人権週間特集号、女性活躍情報誌について、38,000部印刷して全戸配布となっています。世帯数と全体のコストは違うことは理解している。疑問に思ったのは、介護施設、1つの施設の中に入居して世帯として、カウントされてる施設があると思うが、そういうところへは、配布物はどのようになっているのか。
事務局	施設に関しては、配布は行ってない。今後、配布するように考えていきたい。
委 員	障がいのある人についての相談だが、取組としては福祉実践教室とかなど身体の部分が多い。今、精神障害がすごく増えている。精神障害や知的障害、いろんな意味の理解を深めるという意味で、もう少し障がいのある人への交流や体験をしていただければ思う。
会 長	4年度の実績報告、5年度の実施計画についての方向性も含めて、いろんな意見を出していただいた。是非、反映していただきたいと思う。

議題（３） その他について	
事務局	<p>人権推進課の事業について報告する。</p> <p>人権講演会を11月26日（日）美和文化会館、市民人権講座を3回実施する。人権週間特集号及び人権啓発漫画冊子の作成について、何か掲載記事等あれば連絡お願いしたい。</p>
会 長	<p>次回審議会については、12月に開催ということをお願いする。</p>